

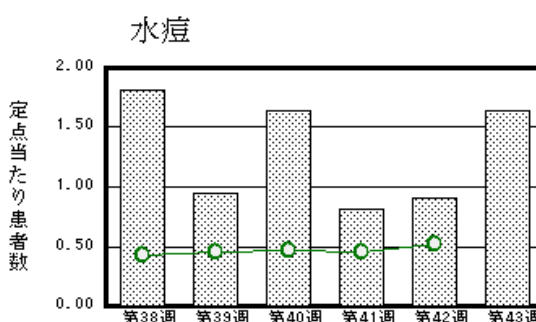
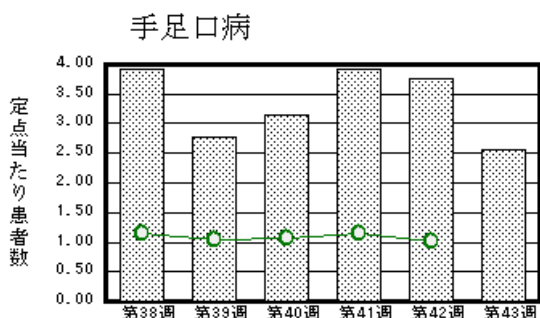
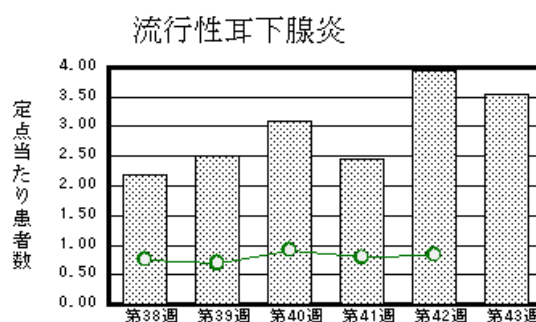
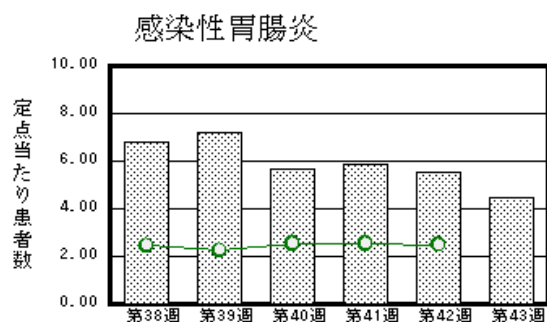
福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

発行日：平成16年10月26日
 <週報> 第43週（平成16年10月18日～10月24日） 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎99名(4.5名) 流行性耳下腺炎78名(3.55名) 手足口病56名(2.55名) 水痘36名(1.64名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎24名(1.09名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(99名) 流行性耳下腺炎(78名) 手足口病(56名) 水痘(36名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(24名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は99名です。定点あたり患者報告数は減少しました。(5.55名 4.5名)。地域別にみると福井地区8.86名、坂井地区5.0名、丹南地区2.6の順となっています。
- 【流行性耳下腺炎】報告数は78名です。定点あたり患者報告数はわずかに減少しました(3.95名 3.55名)。地域別にみると福井地区6.57名、二州地区6.0名、丹南地区2.4名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は56名です。定点あたり患者報告数は減少しました(3.77名 2.55名)。地域別にみると二州地区3.33名、丹南地区3.2名、奥越地区3.0名の順となっています。
- 【水痘】報告数は36名です。定点あたり患者報告数はわずかに増加しました(0.91名 1.64名)。地域別にみると福井地区2.43名、奥越・丹南地区2.0名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第41週号(10月4日～10月10日)要点

発生動向総覧	<第41週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている/その他最新動向
注目すべき感染症	<先天性風しん症候群> 1999年には報告がなく、2000～2003年は各1例であったが、本年は第41週までに8例の報告となった
病原体情報	エンテロウイルス71型&コクサッキーA16型ウイルス2004年/無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年/流行性角結膜炎患者から分離されているウイルス 2004年/ヒトから検出されているVero毒素産生大腸菌2004年
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	米国、カナダでのウエストナイル熱流行/ベネズエラ(Monagas州)での黄熱流行/モンゴルでの蠅蛆(ようそ)症の発生
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)
患者	女性 1名	女性 1名
主な症状	腹痛、血便	腹痛、血便
感染原因・感染経路	調査中	調査中
平成16年	福井県	有症者28人、無症者12人(第43週:10月24日現在)
	全国	3,248人(第42週:10月17日現在)
平成15年同時期届出累計	有症者16人、無症者9人 全国累計2,152人(第42週)	

福井県感染症発生動向調査

[定点報告: 5類感染症(週報分)] 平成16年 第 43 週 平成16年10月18日(月) ~ 平成16年10月24日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(42週)
小児科 (29)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	2 0.18						2 0.07	1 0.03	44 0.01
	RSウイルス感染症									68 (41週)
	咽頭結膜熱	7 1.00					14 2.8	21 0.95	42 1.91	333 0.11
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	7 1.00	1 0.33	3 1		9 4.5	4 0.8	24 1.09	11 0.5	1756 0.58
	感染性胃腸炎	62 8.86	15 5.00	6 2	2 1	1 0.5	13 2.6	99 4.50	122 5.55	7571 2.49
	水痘	17 2.43	3 1.00	2 0.67		4 2	10 2	36 1.64	20 0.91	1577 0.52
	手足口病	16 2.29	7 2.33	10 3.33	1 0.5	6 3	16 3.2	56 2.55	83 3.77	3106 1.02
	伝染性紅斑	3 0.43				2 1		5 0.23		312 0.10
	突発性発しん	6 0.86				1 0.5	9 1.8	16 0.73	13 0.59	1971 0.65
	百日咳									39 0.01
	風しん									18 0.01
	ヘルパンギーナ			1 0.33				1 0.05	1 0.05	541 0.18
	麻しん(成人麻しんを除く)									13 0.00
	流行性耳下腺炎	46 6.57	2 0.67	18 6				12 2.4	78 3.55	87 3.95
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									9 0.01
	流行性角結膜炎								3 1	477 0.75
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									6 0.01
	無菌性髄膜炎									14 0.03
	マイコプラズマ肺炎								2 0.33	129 0.28
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									5 0.01
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第41週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第43週 平成16年10月18日(月)～平成16年10月24日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				3				2						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		7	1	4	1	10						12ヶ月未満								
1歳		1歳		3		11	10	10	1	4					3	1歳								
2歳		2歳		3		10	10	13							7	2歳								
3歳		3歳		3		10	8	13	1						8	3歳								
4歳		4歳		3	2	11	3	10	2				1		23	4歳								
5歳		5歳		3	3	5	2	1							14	5歳								
6歳		6歳		2	8	2	2	2							12	6歳								
7歳		7歳			4	3		1							5	7歳								
8歳		8歳		2	3	6									3	8歳								
9歳		9歳				4		1							1	9歳								
10～14歳		10～14歳			3	17		1							1	10～14歳								
15～19歳		15～19歳				2										15～19歳								
20～29歳	2	20歳以上		1	1	8									1	20～29歳								
30～39歳																30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	2	合計		21	24	99	36	56	5	16			1		78	合計								
前期計	1	前期計	0	42	11	122	20	83		13			1		87	前期計		3				2		
当期間/前期	2	当期間/前期	***	0.5	2.18	0.81	1.8	0.67	***	1.23	***	***	1	***	0.9	当期間/前期	***	0	***	***	0	***	***	
増減数	1	増減数	-1	-21	13	-23	16	-27	5	3					-9	増減数		-3			-2			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

